

藤沢市地域防災計画の抜本的見直しの取組について

1 趣旨

藤沢市地域防災計画（以下「本計画」という。）については、これまで国の防災基本計画や神奈川県地域防災計画の修正、大規模災害の教訓等を踏まえ、毎年検討を加えるとともに必要な修正を行ってきました。

一方で、近年、国・県においては、風水害の頻発化・激甚化や南海トラフ地震等の大規模災害発生の切迫等を受け、防災施策の抜本的見直しが進められるなど、本市に求められる災害対応がこれまでと大きく変化しています。

また、本計画は記載内容が多岐にわたり全体像が把握しにくい状況もあることから、その構成や言葉の表現など改善の余地があります。

このようなことから、計画全体の内容を整理し、最新の施策や被害想定に対応したわかりやすく実効性の高い計画へと抜本的見直しをする必要があるため、その取組について報告するものです。

2 国・県の動向

令和 7 年 3 月 神奈川県地震被害想定の見直し
南海トラフ巨大地震被害想定の見直し
6 月 災害対策基本法の一部改正
7 月 災害対策基本法の一部改正
防災基本計画の修正
南海トラフ地震防災対策推進基本計画の修正
令和 8 年 3 月 神奈川県地域防災計画の修正（予定）

3 具体的な取組

（1）見直しの視点と取組の期間

本計画は、記載内容が多岐にわたり、分量も過大で全体像が把握しにくいことに加え、毎年行う見直しの検討や修正作業に多くの時間を要しています。

このことから、記載内容を精査し、重複部分や点在する記載、構成を整理するなど、分量の縮減を図ります。

また、国・県の動向やカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報発表における災害対応の状況などを踏まえ、業務委託による専門的な知見を加え、2 か年事業として取組を進めます。

(2) 庁内ワーキンググループ

見直しにあたっては、庁内横断的な取組として、各部局総務課等における防災担当で構成する（仮称）調整検討会議を開催し検討を進めます。各部局が主体的にかかわることで、職員一人ひとりの防災意識の向上と組織全体の災害対応力の強化を図ります。

(3) 市民意識アンケート調査

子ども・若者を含めた市民の防災に対する意識や備えの実態を把握し、本計画における防災施策に反映させます。また、市民一人ひとりが防災について考える「きっかけ」をつくり本計画の実効性を高めます。

(4) 災害時職員行動マニュアル等の見直し

本計画に定められた各災害対応活動の手順等を体系化した災害時職員行動マニュアルも併せて抜本的見直しを行うとともに、関連計画である藤沢市業務継続計画、藤沢市受援計画についても併せて見直しを行います。

4 今後の主なスケジュール（予定）

令和8年2月 災害対策等特別委員会に藤沢市地域防災計画の抜本的見直しの取組について報告

3月 藤沢市防災会議の開催
プロポーザルの実施

令和8年度～9年度

- ・ 庁内ワーキンググループの開催
- ・ 市民意識アンケート調査
- ・ 災害対策等特別委員会に藤沢市地域防災計画の修正について中間報告
- ・ 災害対策等特別委員会に藤沢市地域防災計画の修正について最終報告
- ・ パブリックコメント実施
- ・ 藤沢市防災会議の開催（修正の決定）

以 上

防災安全部 防災政策課